

2022年12月15日 第2501回例会
12月第3例会

RIテーマ:IMAGINE ROTARY

「イマジン ロータリー」

本年度会長テーマ

「原点回帰－親睦と職業奉仕－」

「疾病予防と治療月間」

◆ 会長時間 ◆

新原会長



12月10日(土)、広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校インターアクトクラブの結成50周年記念式典が開催されました。50年前の結成大会で司会進行を務められた、諏訪昭登パストガバナー、歴代インターアクト担当

委員長の方々はじめ、広島西RCからも多数の会員の皆さんにご臨席いただき、まことにありがとうございました。担当いただいた川村理事、大地委員長はじめ青少年・インターアクト委員会の皆様も大変ありがとうございました。前回の第2500回例会でも申し上げましたが、このような機会に歴史を振り返り、意義や目的を再認識し、次の一步を踏み出して将来に繋げていくことは、とても重要なことだと感じました。会員の皆さんにおかれましては、引き続き彼らに関心を持っていただき、温かいご協力をよろしくお願いいたします。

さて、毎年恒例の清水寺で発表される今年の漢字が「戦」に決まりました。ロシアのウクライナ侵攻や、サッカーワールドカップ、コロナや物価高との闘いなどの象徴として「戦」の字が選ばれたようです。私は広島西RCの会長職はもちろんのこと、全国業界団体の副会長として中央官庁や関連議員連盟との折衝等、還暦を過ぎても新しい挑戦と経験をたくさんさせていただきましたので、私の今年の漢字は「新」かなと思っています。皆さんはいかがでしょう？

米山記念奨学会 米山功労者感謝状の伝達



第1回 大谷 博昭 君



第1回 山縣 浩一 君



第2回 笹野 正明 君



第3回 梶本 政明 君



第3回 西原 英治 君



第5回 原 敬 君



第5回 田中 健志 君



第8回 金本 善行 君

● 会務報告

古本幹事

次週22日は夜間例会並びに会員懇親会に変更となっています。また、12月29日及び1月5日の例会は休会となっておりますので、お間違えないようお願いいたします。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 熊本委員長

本 日 (12月15日・木曜日)

会員数 87名 出席者 70名

欠席者 17名 ご来客 0名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 71名

4週前の例会2022年11月17日・木曜日

出席率 100%



※ ロータリー情報委員会 加藤君

今年のロータリー情報は、新原会長のテーマに則り職業奉仕に関する情報をお伝えしております。

今日は、関西のとある地区の役員の方々の自身の生業と職業奉仕に関するコメントが載っておりましたので少し紹介をします。尚、各人の解釈ですのでその旨ご了承ください。

【建築士】

「先代より地域で建築の仕事を真摯に努めてまいりました。その結果、地元の人たちの支持を多くいただきました。私が建築士としての責務を果たすことで、なおいっそうの地域貢献になるものと確信しています。建築の専門家として地域医療のお医者様のように相談・住宅診断から改修・新築工事やファイナンスに関することまでフォローすること。お客様に喜んでいただくこと。あたりまえのことですが、これが私の職業奉仕です」

【内科医】

「私は内科医を志して40年、開業医としての職業に就いて30年ぐらいになります。父から受け継いでかかりつけ医として地域の人々の健康管理をしております。健康を損なっている方には速やかに改善するように導き、支援することがかかりつけ医としての職業奉仕ではないかと思っております。利益を上げるための職業奉仕をするのではなく、天職を通じて皆のためになるような職業奉仕を心がけることが大事と考えます」

【食品関係】

「もはや食べることに困らなくなった我が国に於いて、美味しさと安心を食品に求めることも特別なことではありません。しかしコスト優先が世の風潮になる中、私たち食品メーカーが忘れてはならないことは、お客様の健康を日々担っている、ということと考えています。目先の利益のみに目を向けるのではなく、日本という国全体の未来を考えて、責任の持てる食品を提供し、先の世代に問題を作ることを絶対にしてはならないと考えます」

皆さんも、ご自身の職業に当てはめて、職業奉仕を考えてみてください。

※ 青少年・インターアクト委員会 大地委員長

先ほど新原会長からご案内がありましたが、12月10日、広島修道大学ひろしま協創高等学校インターアクトクラブ結成50周年記念事業が無事終了いたしました。

これもひとえに広島西RCの皆さまのご協力のお陰です。ありがとうございました。

当日は、来賓3名、IAC関係者27名、西RC24名の合計54名の参加でした。IACからは「貴重な体験で大きな経験となりました」との言葉をいただきました。

今後は、50周年記念誌の作成に取り掛かりますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。





12月11日付 中国新聞

●スマイルボックス SAA 柴田委員長

玉木君（自主申告）、平原君、新本君

12月10日(土)、平原君が後援会会長をされているカープの栗林投手の激励会に参加しました。

そこで行われたじゃんけんゲーム大会で、幸運にも栗林選手のグッズをゲットすることができました。来シーズンの活躍を祈念して、平原君と一緒に出宝させていただきます。

同じく、同会でグッズをゲットされた新本君もご出宝をお願いします。

次年度の理事会メンバーの皆さん

先週の年次総会で次年度の理事会メンバーが無事、承認されました。これから今年度と次年度のかけ持ちになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

次年度会長の諏訪(昭浩)君、会長エレクトの前橋君、副会長の木村君、直前会長の新原君、縁起物ですのでダブルでお願いいたします。

会計の大谷君、幹事の吉田(大)君、副幹事の上野(寛)君と熊本君、会員組織部門の木村君、管理運営部門の柳原君、SAAの村上(健)君、職業奉仕部門の吉田(浩)君、社会・青少年奉仕部門の田原君、国際奉仕部門の田島君、財団部門の前橋君も、それぞれご出宝をお願いいたします。

地域・環境委員会の皆さん

12月7日、地域・環境委員会の事業で、緑色の「地域見守りジャンパー」を、佐伯区役所と西区役所に、各100着ずつ贈呈されました。

佐伯・西区内の街角で、地域見守りジャンパーを着ておられる地元の方々を見かけたら、私達も奉仕の喜びを感じたいと思います。社会・青少年奉仕部門理事の川村君、地域・環境委員会委員長の村上(健)君、副委員長の田原君、委員の坂田君、柳原君、事業実施お疲れさまでした。

青少年・インターアクト委員会の皆さん

12月10日、広島修道大学ひろしま協創高等学校のインターアクトクラブ設立50周年の式典が開催されました。これからも、彼ら・彼女たちの社会奉仕のお手伝いをしていきましょう。

ということで、社会・青少年奉仕部門理事の川村君、青少年・インターアクト委員会委員長

●会員記念日

🕒ご入会記念月おめでとうございます。

(6名)

村上(智)君(H12年) 古本君(H19年)
柳原君(H27年) 瀬崎君(H27年)
藤田(千)君(H30年) 大地君(H30年)

🌸創業月おめでとうございます。

(5名)

柴田君 ㈱柴田燃料商会
松岡(輝)君 ㈱山城屋
大谷君 税理士法人児玉会計
上野(彰)君 ㈱SUNS
玉木君 日本産商㈱

の大地君、副委員長の中岡君、委員の山木君、木本君、隅田君、事業実施お疲れさまでした。ご出宝をよろしくお願いいたします。

原君、田中君

米山記念奨学会から、米山功労者として、節目の5回目の感謝状を授与された、原君、田中君、これからも米山奨学会のさらなる支援を続けられますようお願いいたします。

スマンボックス

新原君（自主申告・トリプル）

先日開催された広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校IAC設立50周年記念式典の挨拶において、あろうことか記念講演会 講師の広島修道大学 矢野 学長のお名前を間違えるという、大変失礼なミスをしてしまいました。

心から反省し、出宝します。



卓 話



遺伝情報に基づいた最先端のがん診療

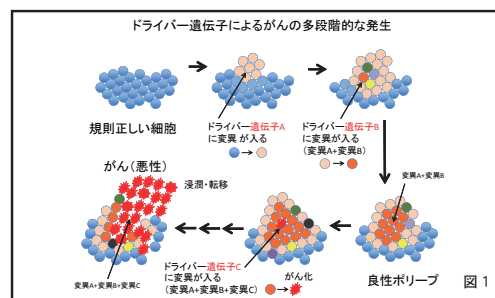
～がんゲノム医療と遺伝性腫瘍～

広島大学病院ゲノム医療
センター長
遺伝子診療科 教授

檜 井 孝 夫 氏

1. がんの発生とゲノム異常

多くのがんの発生は、正常組織から前癌状態を経てがん化する多段階なステップです。私が専門とする大腸癌の場合、良性ポリープ（腺腫）が大きくなると、その中に癌が発生し早期癌となり、それが更に大きくなると進行癌となり周囲への浸潤や遠隔転移により致命的となります。このがんの発生に関係する遺伝子をドライバー遺伝子変異と呼び、多くのがんでは複数のドライバー遺伝子が関与しています。（図1）



「ゲノム」は生命の設計図で全遺伝情報（配列）を意味します。ヒトゲノムではアデニン(A)、グアニン(G)、シトシン(C)、チミン(T)の4種類の塩基が数珠状に30億個ならんで構成されています。1個の細胞の染色体を伸ばしてつなぐと、2mの長さになるほどの情報量があります。ヒトゲノムの中に含まれる遺伝子は約2万種類で、約300-500種類が「がん」に関連しており、これらに何らかの原因で配列に変化が起こると、変化した遺伝子から合成される異常蛋白質が、細胞の働きや秩序を乱して細胞をがん化します。



2. がんゲノム医療の基礎知識

2019年6月1日より、がんゲノム医療が保険適用となりました。がんゲノム医療で実施可能な保険適用の検査「がんゲノムプロファイリング検査」では、100-300種類の遺伝子を網羅的に解析してドライバー遺伝子を同定します。この検査が保険適用となった背景として、(1)遺伝子解析のコストが大幅に下がったこと(3,000億円かかっていた検査が10万円で行えるようになった)、(2)ゲノムの変化によって発生する異常蛋白質に対する特異的な治療薬である「分子標的薬」が増えてきたこと、の二点が挙げられます。

これまでのがん治療と「がんゲノム医療」の違いですが、これまでの「臓器別治療」では、治療薬を使ってみないと効果がわからない点や殺細胞性薬剤による正常細胞への影響（脱毛、吐き気などの副作用）が問題となっていました。一方、「がんゲノム医療」では、ドライバー遺伝子に対する抗がん剤を選択するので、薬の有効性を予測しやすい点や、がん細胞に特異的な分子を攻撃するので、正常細胞への影響が少ない点が挙げられます。（図2）

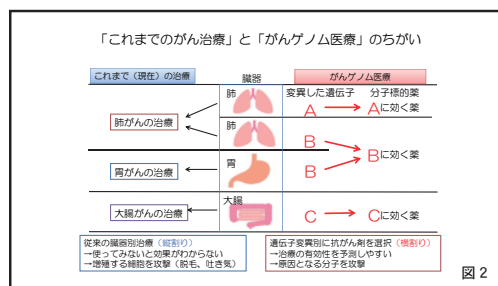


図2

2022年12月現在、保険適用で使える「がんゲノムプロファイリング検査」には3種類あり、組織検体がある場合には検体から遺伝子を抽出して解析する検査（二種類）と、組織検体が無い場合には、採血で採取した血液の中から、血中循環腫瘍DNAを検出して解析するリキッド・バイオプシーの検査があります。（図3）

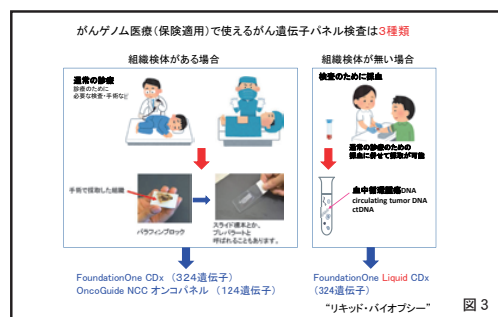


図3

保険適用でがんゲノム医療が受けられるのは1回のみで、対象のがん種は白血病などの血液がん以外のすべての固形がんとなっています。標準治療が無いがん（希少がん、小児がん、原発不明がんなど）の場合には、治療開始前に検査を受けることができますが、標準治療があるがんの場合（肺がんや大腸がん、膵がんなど）の場合には、標準治療を開始後、検査のタイミングを図ります。検査結果が戻るまでに約1ヶ月半かかりますので、検査後に化学療法が受けられるような十分な予後があることも条件です。

3. 広島で受けられるがんゲノム医療体制の整備

現在、がんゲノム医療が受けられる医療機関は、全国に233施設あり、広島県内では、広島大学病院、県立広島病院・広島赤十字原爆病院・JA広島総合病院・呉医療センター・JA尾道総合病院・東広島医療センター・安佐市民病院・広島市民病院・福山市民病院・福山医療センター（下線が広島大学病院の連携施設）の11カ所で、広島県は全国で5番目に多い県です。

広島大学病院は、がんゲノム医療拠点病院とし

て、連携病院の症例を含めて、「エキスパートパネル」という専門家会議を毎週開催しています。専門家には、がん薬物療法専門医、臨床遺伝専門医、分子病理医、薬剤師、バイオインフォマティシャン、認定遺伝カウンセラーなど多職種が参加するエキスパートパネルにおいて患者さん一人一人の解析結果を議論し、推奨治療などをレポートにまとめて主治医に報告します。（図4）

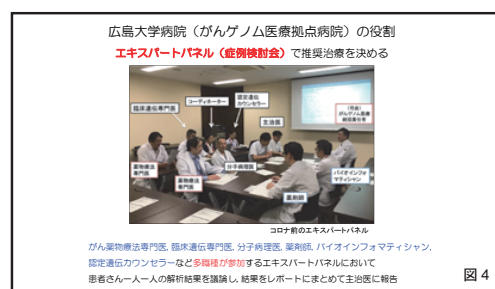


図4

本邦の登録データでは、がんゲノムの検査を受けた後に、約10-15%程度の患者さんが最先端の治療を受けています。最も多いのが保険診療の治療（60%）で、他にも新薬の臨床試験（治験）や、適応外使用の臨床試験などを受けられます。

患者さんやご家族から、がんゲノム医療の相談窓口についての質問をよく受けます。まずは抗がん剤を受けている主治医に相談するのが一番ですが、もし主治医以外に相談したい場合は、「がん相談」があります。広島県内で、がん相談支援センターのある医療機関は、「広島がんネット」
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/kyous-ei-soudan-ichiran.html> から検索できます。もし、保険適用ではないが自費でがんゲノム検査を受けたい場合、広島大学病院遺伝子診療科のセカンドオピニオン外来を受診していただければ、50-60万円程度の費用がかかりますが、何回でも検査を受けることができます。

4. がんゲノム医療の課題（二次的所見）と私共の取組み

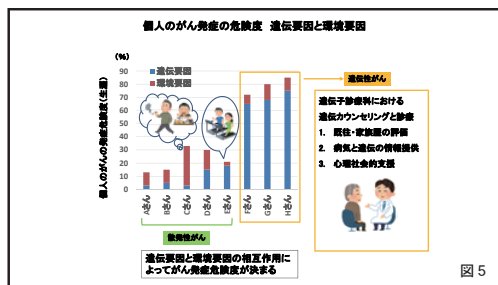
がんゲノム医療の課題として、遺伝子の検査を受けると約5-10%の患者さんで遺伝性腫瘍が見つかる可能性があり、このように意図せずに明らかとなる所見を二次的所見と言います。遺伝情報の特徴として、生涯変化しない（不変性）、将来の疾患の発生を予測できる（予測性）、家系内で同じ情報を共有している（共有性）の3つがあります。最新のガイドラインでは、見つかった遺伝子の変

化が病的かどうかの解釈が、将来的に変わる可能性があるという「あいまい性」が加わりました。遺伝性腫瘍に関する二次的所見を正しく理解すれば、家系内の誰に、どのような癌が、何歳くらいから発生するのか予測可能となり、がん検診による早期発見や予防行動を推進し、がんによる死亡を防ぐことが期待できます。

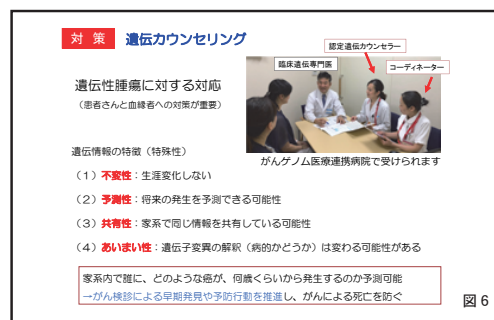
広島大学病院では、ゲノム医療の社会実装をめざした人材育成のとりくみとして、2020年1月に遺伝子診療科を、2022年1月にゲノム医療センターを設置して臨床遺伝の専門医の研修体制を強化しています。また全国に316名（2022年12月現在）しかいない「認定遺伝カウンセラー」を養成するための大学院のコース（2年間のマスターコース）を2021年4月に開設し、地域で活躍してくれる遺伝カウンセラーの育成を行なっています。社会人から入学した大学院生の経済的負担軽減のためクラウドファンディング（2022年2-3月）などを行なっており、経済的な支援をしています。

5. がん発症危険度（リスク）と遺伝性乳癌卵巣癌症候群

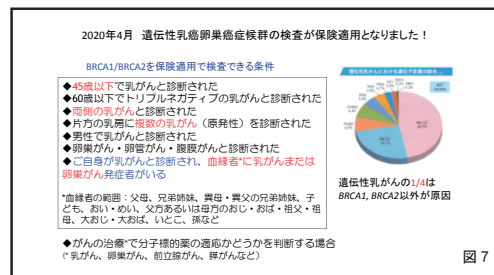
一般に、個人のがん発症危険度は、遺伝要因と環境要因の相関によって決まります。（図5）



Cさんのように、遺伝要因が低くとも、喫煙や暴飲暴食などの不摂生による環境要因が大きくなると、Eさんのように遺伝要因が多少高くとも健康管理をしっかりとって環境要因が減れば、Cさんよりもがん発症の危険度が下がります（散发性がん）。一方で、F-Hさんのような遺伝性がんの場合、遺伝要因が高いため、環境要因を改善しても、がん発症の危険度が十分に下がられません。そのため、遺伝子診療科における遺伝カウンセリングによる既往・家族歴の評価を行い、病歴と遺伝の情報提供し、心理社会的支援を行うことが重要になってきます。（図6）



2020年4月、遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）の検査が保険適用となりました。乳がん患者の3-10%は遺伝性がん、そのうち約7割がHBOCです。HBOCの原因遺伝子はBRCA1またはBRCA2で、女性の場合は乳がん（70%）、卵巣がん（20-40%）、男性の場合は前立腺がん（60%）、男性乳がん（9%）、男女とも膵がん（2-7%）や悪性黒色腫のリスクが高くなります（カッコの数字は生涯のがん発症危険度）。また最近の日本人のデータでは、胆道がんや食道がん、胃がんのリスクも高くなるという報告があります。実際、HBOCは珍しい体質ではなく、一般集団の300-400人に1人はHBOCと言われており、2020年4月より特定の条件を満たしている乳がんや全ての卵巣がん患者さんでBRCA遺伝子の検査が保険で受けられるようになりましたが、まだその情報をご存知でない方も多数おられます。（図7）



今回、HBOCで乳がんや卵巣がんを発症された方が、リスク低減手術（予防的乳房切除術や予防的卵巣卵管切除術）などを受ける場合も保険が適用されることとなったのは画期的なことです。一方で、遺伝性の乳がん、卵巣がん、前立腺がん、膵がんを示唆する病歴や家族歴がない場合でも、分子標的薬の適応かどうかを判断する場合（コンパニオン診断）としてBRCA遺伝子の検査をする場合があります。がんの治療についての検査を受けたら、予期せずにHBOCであることが判明する場合も増えてきています。

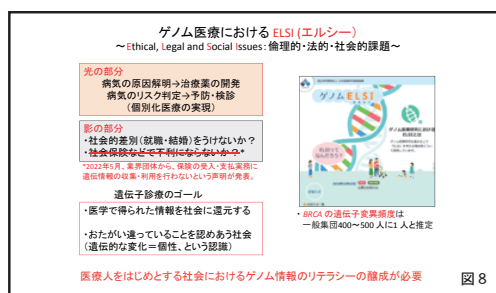
遺伝性乳がんの約3割はBRCA 1、BRCA 2以外が原因と言われています。これらは保険で検査できませんが、遺伝性腫瘍に関連する67遺伝子を解析する検査（乳がんだけでも20種類の遺伝子を含む）としてマルチ遺伝子パネル検査を広島大学病院では提供しています。自費診療で約20万円（検査方法は採血、検査期間は約1ヶ月）かかりますが、遺伝カウンセリングや遺伝子診療を希望される場合には、遺伝子診療科に遠慮なくご相談ください。（直通電話082-257-5965）

6. ゲノム医療における倫理的・法的・社会的課題

Ethical, Legal and Social Issues : ELSI (エルシー)

遺伝子診療には、病気の原因解明や治療薬の開発、病気のリスク判定による予防・検診などの個別化医療の実現といった「光の部分」と、「社会的差別（就職・結婚）をうけないか?」「社会保険などで不利にならないか?」といった「影の部分」があります。社会保険については、2022年5月に業界団体から、保険の受入・支払実務に遺伝情報の収集、利用を行わないといった声明がでており解決しつつあります。

遺伝子診療のゴールとして、医学で得られたゲノム情報を社会に還元でき、おたがい違っていることを認めあう社会、遺伝的な変化を個性として認識できる社会の実現が必要で、医療人をはじめとする社会全体におけるゲノム情報のリテラシーの醸成が不可欠です。広島大学病院は、がんゲノム医療拠点病院として診療科横断的かつ多職種間での連携によってゲノム医療の社会実装に必要な体制作りを進めています。（図8）



● 卓話予告

日時	テーマ
1/12(木)	会員卓話「年男・年女放談」 中岡 弘夫 君、香川 浩史 君、松田 健 君

● スマイルボックス (ニコニコ箱)

広島西RCでは、毎例会時にSAA委員会によるスマイルボックスの時間があります。主旨は、会員がニコニコして慶祝事項を自主申告し発表報告するもので、例えば企業の発展的ニュースとか、我が家の祝い事とかをメモ書きしてSAAに提出すれば紹介してくれるものです。その他に、SAAが独自に調査して発表するものもあります。

出宝は原則一口1,000円です。積極的なご出宝をお願いしております。これがクラブの奉仕活動の資金となります。なかでも大きなお祝い事の時は、大枚（10,000円）金一封（5,000円）をいただいていることもあります。

この習慣は全世界的なものではありません。日本では慣例となっていますが、どの国でもあるというものではありません。日本で「ニコニコ箱」の名称が始まったのは1936年です。関東大震災の被災孤児たちを遊園地に連れて行くための資金集めのため、段ボール箱を持って例会場を回ったのが起源だという説がありますが、起源はわかっていません。

「誰にも聞けないロータリーの基礎知識」
より抜粋

私の宝物

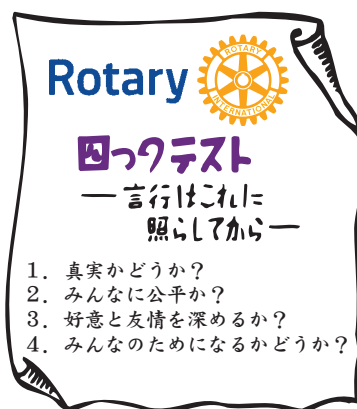


自邸の家具や照明器具です。

中でも1番の宝物がペンダント照明。ポール・ヘニングセンが1958年にレストランの為に造ったもので、アーティチョークと呼ばれ、100を超えるパーツでできており、当時の照明の概念を変えました。



古本 竜一
平成19年12月6日入会



例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 新原 靖
幹 事 古本 竜一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

